



～～国際化社会セミナー2020～～

自立の家 × SDGs

「新・しそ自立の家」の新しい取り組み

SDGsは世界中のすべての人を幸せにするための目標です。小さなことからでも私たちが取り組まねばなりません。災害危険区域から移転する「新・しそ自立の家」は2021年秋に完成予定です。災害に直面した私たちと、地球と社会を守る取り組みをいっしょに考えて下さい。

日時：2020年10月17日(土)14時から

場所：「はんしん自立の家」宝塚市美幸町11番16号

お話：松田雄二先生 東京大学大学院 建築学専攻 准教授

協力：「新・しそ自立の家」コンセプト説明 (株)アール・アイ・エー



松田雄二先生 プロフィール

東京大学工学部建築学科卒業 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程 修了(博士(工学)) 2015年～ 東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 准教授、一級建築士

研究分野: 建築計画学、視覚障害者の歩行環境、重度重複障害者の地域居住、福祉・医療施設計画、ユニバーサルデザイン

申し込み・問い合わせ

ファクスまたはeメールにて

〈入場無料〉

①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤年齢 ⑥所属をお知らせ下さい。

Fax (0797) 72-0592 e-mail:japan-cheshire@mqb.biglobe.ne.jp

新型コロナウイルス感染防止対策により、人数制限や延期、オンラインでの配信もあり得ます。必ず連絡先をお知らせください。

主催 社会福祉法人ひょうご障害福祉事業協会

「はりま自立の家」「はんしん自立の家」「しそ自立の家」「かるがも園」

〒665-0042 兵庫県宝塚市美幸町11番16号 TEL(0797)73-7213

“誰一人取り残さない” 持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現

SDGs（エスディージーズ：Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標）とは

2015年に国連で定めた、人間活動が引き起こす課題を解決するための17の具体的な目標。
キーワードは「持続可能」「誰一人取り残さない」
自分事として考えることが取り組みの第一歩。

「新・しそう自立の家」

1995年三番目のチェシャーホームとして障害者支援施設「しそう自立の家」を兵庫県宍粟市波賀町に設立。2018年7月の豪雨以来土砂災害特別警戒区域と山腹崩壊危険区域に入り同年には6回避難を繰り返しました。生命の安全を最優先として移転を計画し、2020年度国県補助金を得て「新・しそう自立の家」建設プロジェクトがスタート。



2018年7月当時の近くの砂防堰堤

地球温暖化による異常気象や人口減少による課題を痛感し新計画への向き合い方の原点を協議する中に、SDGsへ取りくみ始め、17のゴールに沿って「新・しそう自立の家」の計画をすすめてきました。私たちにできることは小さなことですが、できることから取り組んでいきます。

重い障害のある人たちが社会の一員として安心して暮らせる場として「新・しそう自立の家」をつくるのが、なによりもSDGsの実践と考えます。

建設予定地	兵庫県宍粟市山崎町与位
構造	木造一部鉄筋コンクリート造
工期	2020年11月～2021年11月(予定)

SDGsの実践を呼びかける「新・しそう自立の家」は、移転新築のために多額の資金が必要です。募金にご協力ください。

振込先 池田泉州銀行 仁川支店 普 2208205 / みなと銀行 逆瀬川支店 普 92419
名義 社会福祉法人ひょうご障害福祉事業協会 理事長 片岡 寛

※寄付金控除の対象になりますのでご一報ください。

本講演会は、「はりま自立の家」40年目、「はんしん自立の家」35周年、「しそう自立の家」25周年そして、「新・しそう自立の家」開設記念として開催します。多くの皆様のご協力に感謝します。